

モニターレポート(5月報告)

【報告内容①】

空き缶、ビニール袋などが捨てられているときがあります。散歩のときは、これ等を拾いながら歩くのですが、マナーは守って行動したいものです。そしてもっと残念なことは、テレビ等、大型不要物を捨てていくことです。今回も泰平橋右岸橋脚脇にテレビ、架台等が捨てられています。これらは大きいので始末したくても個人では出来ないので処理をお願いします。

〈事務所からのコメント〉

時期にかかわらず、川への不法投棄があとを絶ちません。地デジの普及のためか、最近では昔のテレビがよく捨てられています。不法投棄につきましては、看板などによる不法投棄禁止の告知をしており、また、もし原因者が判明すれば、厳格に対処いたします。

【報告内容②】

堤防の下の道をかなりのスピードで走っている車がいたので、ちょっと気になりました。

〈事務所からのコメント〉

堤防の下の道路をかなりのスピードで車が走っていたというご報告がありました。たとえ公道ではないにしろ、事故がおこってはいけません。注意看板を設置することといたします。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

信濃川ではこれから果樹栽培に向けて作業が盛んに行われる季節ですが、阿賀野川河川敷では余り見られないようです。これは適材適所でその土地土地に合った作付けを農家の方が考えながら行っているのでしょうか？

〈事務所からのコメント〉

信濃川の河川敷には、果樹園が沢山あるのに、阿賀野川の河川敷には見られないとお話がありました。新潟市史によれば、「ナシの栽培は現新潟市域だけでなく、白根市や横越町・亀田町の村々にも広がっていた。ナシの栽培は低湿地ではできないので、自然堤防や砂丘地で栽培された。」と書かれており、果樹類は自然堤防や砂丘地のような箇所限定されて作られていたと考えられ、それが現在まで引き継がれてきて信濃川河川敷に残っているものと思われます。ちなみに阿賀野川河川敷では、果樹は栽培されていません。

【報告内容④】

阿賀野川写真コンテストで写真を募集していることを知りました。そこで、写真を応募してみようと思い立ちました。

1年間適当な写真を撮っていたので、それを見返してみました。見ているうちに特に注意して写したのではないですが、阿賀野川の四季の変化を思い出しました。写真にして順番にみると阿賀野川には様々な顔があるのだと思いました。

〈事務所からのコメント〉

当事務所が後援しております阿賀野川写真コンテストですが、今年で第19回目となります(18回目以降は阿賀野川治水協会が主催)。今年のコンテストは、既に募集を締め切りましたが、毎年様々な視点から撮影した写真が見られます。一見すると、他の川かと思間違うほどの作品もあるほどです。ぜひ次回の写真コンテストに応募していただければと思います。

※複数のモニター報告を要約してあります。